

基本情報						
教科・科目		高2 文学国語 α ・ β		・ 授業で使用するもの 『文学国語』（東京書籍） 『大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000』（尚文出版）		
担当者		田中雅浩				
評価割合（試験：試験外）		試験： 60 試験外： 40		・ 定期テスト（2回分200点満点を60点に圧縮） ・ 小テスト（6回分120点満点を20点に圧縮） ・ 長期休暇課題（各10点を年2回）		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		読解に必要な語句、漢字を身につける。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		本文を正しく解釈し、それを表現できる。		
		探究・ 叡智（主体的に学習に取り組む態度）		読み取ったことから発展させて考え、現代社会とつなげて考えられる。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	4	随想を学ぶ。	言語化しにくいものを言語で表現する力を身につける。	小池昌代「光の窓」	本文読解	筆者の主張を汲み取れるか。
5		書く論理を学ぶ。	書き手の意図を踏まえた論理を考える。	いしいしんじ「窓」 穂村弘「モードの変遷」	本文読解	抽象概念を理解できるか。
6	定期試験① 令和8年 6月3日－6月5日）					
6		詩歌を学ぶ。 論理的文章を学ぶ。	詩歌読解の論理を知る。	「硝子の駒――短歌抄」 若松英輔「言葉を生きる：	本文読解	抽象概念を具体化できるか。
7		小説を学ぶ。	人間以外の視点からの見え方を学ぶ。	井伏鱒二「山椒魚」	本文読解	作中主体の心情を理解できるか。
7	定期試験② 令和8年 7月15日－7月17日 範囲）					
8	-					
9		名作に触れる。	時代背景を理解したうえで、作中主体の心情を考える。	夏目漱石「ころも」	本文読解	作中主体の心情を理解できるか。
10						
10						
11		名作に触れる。	時代背景を理解したうえで、作中主体の心情を考える。	夏目漱石「ころも」	本文読解	作中主体の心情を理解できるか。
12						
12	定期試験④ 令和8年 12月9日－12月11日 範囲）					
1		近現代の思想を知る。	書き手の意図を踏まえた論理を考える。	鮎川信夫「詩と感情生活」 角田光代「あの朝」	本文読解	表現の効果を考えられるか。
2						
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日－3月6日 範囲）					